

# 災害発生時に命を守るために [校外版]

9月は「**防災月間**」です。自然災害はいつ起こるかわかりません。誰しもが被災したり、**帰宅困難者**(公共交通機関が運行停止し、職場等の外出先から帰宅することが出来なくなった人)になる恐れがあります。平常時から命を守る行動を備えることが重要です。



参照：大阪府「学校における防災のフローチャート」学校防災における危機管理の全体構成図

命を守る行動をとるためには、事前の準備が必要です。

いま・ここでどうやって命を守るのか。災害発生時の行動について、平常時から確認や検討を定期的に行いましょう。各校の「危機管理マニュアル」とあわせて、「枚方市教育委員会災害発生初動マニュアル」「枚方市職員災害時初動マニュアル」なども参照してください。

## 安否確認方法の構築

### □家族や職場との連絡方法・待ち合わせ場所を決めておく

- ・停電や電話の不通などを想定し、**複数の連絡手段**を準備
- ・安否確認 「いつ」「何を」「どうやって」「誰から誰に」
  - ・いつ……………定時、〇日
  - ・何を……………どこにいる、ライフライン、気象情報、交通情報、信号機の稼働
  - ・どうやって…スマートフォン、公衆電話
    - ・SNS
    - ・災害用伝言ダイヤル「**171**」「災害用音声お届けサービス」
    - ・「**災害用伝言版サービス(web171)**」
  - ・誰から誰に…遠方の家族を経由した「**三角連絡法**」の方が、連絡がつく場合もあります。



災害用伝言板「web171」

### □日頃から家族の居場所を把握しておく

- ・誰が・どこに・いつ(曜日や時間帯)、どうやって(移動経路)、連絡先は？

## 安全な移動経路や避難場所

### □移動経路は安全か？

- ・自宅や職場の災害リスクをハザードマップで確認
- ・通勤経路の災害リスクや迂回ルートの把握
- ・日中・夜間帯それぞれの移動経路、手段、所要時間
- ・「〇〇が通れなかったら出勤できない・帰宅できない」をあらかじめ把握



## 自宅の安全対策

### □自宅の耐震化

- ・昭和56年以前に建設された建物は要確認

### □家具の設置場所の見直し

- ・自宅内に安全な場所・避難経路を設ける
- ・揺れが収まるまで身を守ることができる、家具の転倒の恐れがない避難スペース、外への避難経路を確保する

### □家具の固定

- ・腰の高さより低いものを選ぶ
- ・備え付け家具、家具を壁に固定する、天井との隙間を埋める

### □家電製品の転倒・落下防止対策

- ・滑り止めマット、耐震ゲル、落下防止

### □収納物の飛散防止

- ・開き扉・引き出しストッパーや落下防止具

### □ガラスの飛散防止

- ・窓ガラスやガラス扉に飛散防止フィルムを貼る

### □自宅備蓄

被災時、安心して生活を送れるように、自宅に食料や飲料水などの必要な物品の備蓄(7日分程度)をしておく。



参考:枚方市「枚方市職員災害時初動マニュアル(R6)」

## 携行できる防災グッズ

大規模自然災害が発生した場合、無理に移動せず安全な場所にとどまることも、命を守るための安全管理のひとつです。

外出中の災害に備え、平常時から必要最低限の防災グッズを携行しましょう。



### 目安量…ひと晩～1日

例えば…

- |                           |            |           |              |
|---------------------------|------------|-----------|--------------|
| □スマートフォン・タブレット            | □予備バッテリー   | □非常時の連絡先  | □ミニライト       |
| □身分証明書                    | □筆記用具      | □現金(小銭)   | □防犯ブザー・ホイッスル |
| □サージカルマスク                 | □ウェットティッシュ | □ビニール袋    | □常備薬         |
| □生理用品                     |            |           |              |
| □非常用トイレ                   | □水         | □水を入れるボトル | □色付きレインポンチョ  |
| □体温を維持するもの(カイロ・扇子やクールタオル) | □軽食やおやつ    |           | など。          |

参考:内閣府ホームページ「防災・災害対策『災害に事前にそなえる(常時携行する災害用品)』」  
防災ボトル(警視庁災害対策課公式X)

## 発災したら…まず命を守る

# 発災直後は「むやみに移動を開始しない」のが基本原則

### 身の安全を確保

- ☐ まずは自分と家族の身の安全を確保
- ☐ 安全な場所(避難場所)で一時待機
- ☐ 受傷時は応急手当を



被災したときに退避できる、安全な場所を把握していますか？

### 情報収集

#### ☐ 情報収集

- ・ライフライン、気象情報、交通情報、信号機の稼働
- ・学校所在地の安全確認、交通経路・移動経路の状況確認

#### ☐ 情報収集手段…デマに惑わされず適切に行動する

- ・テレビ、ラジオ、スマートフォン
- ・「**おおさか防災ネット**」、「**ひらかた安全安心メール**」
- ・公共交通機関のHPなど、公的機関による情報
- ・地図(紙、アプリ)



停電等で、街灯・信号機が稼働していない環境、特に夜間帯の無理な移動は危険です！

### 避難・参集

- ☐ 発災時間帯別行動パターンを事前にルール化
- ☐ あらかじめ決めた方法で、安否状況・参集の可否や参集時期の目途を報告

大規模自然災害が発生したら、自分・家族・学校・児童生徒も被災する可能性があります。その中での活動は、心身に大きな負担を与える場合があります。被災状況・人員に応じて、活動時間/休憩・日・人のローテーションを早期から組みましょう。

#### 情報収集手段



枚方市 防災ガイド



枚方市危機管理ポータルサイト



おおさか防災ネット

職場や最寄りの主要駅から自宅まで安全に徒歩で移動できるルートを把握していますか？

#### 徒歩移動ルートの確認

- ・帰宅困難者NAVI(ナビ)
- ・災害時帰宅支援ステーション



帰宅困難者NAVI(ナビ)